

星のたより

2026(令和8)年
2月号
Vol. 377

第31回雪まつりをおこないます

年末、年始と少しまとまった雪が降りました。さじアストロパークの園地にはそりで滑れるように雪山も作りしましたので、来館の方には自由に滑ってもらえるようにしています。冬の恒例イベント「雪まつり」までまだ1カ月ありますが、「程よい」雪の量で雪まつり当日を迎えたいですね。職員や地域の方とさまざまなメニューを用意していますので、冬のひと時をさじアストロパークで楽しみましょう。

日時：2026年2月8日(日)10:00～16:00

主なメニュー：雪像づくり、雪遊び体験、
工作体験、アイスクリーム作り、
プラネタリウム、屋台コーナー、などなど

～雪でおもいっきり
遊びましょう！～



★今月の豆知識★
⑦ ぶん月食で最近注目されているのが「ターコイズフリンジ」なんだから。皆既月食の前後の部分的に欠けているときに、欠けぎわのところが青っぽく写る現象だよ。目ではわからないけど、写真では写るそうなので、3月3日の皆既月食の時にチャレンジしてみようかな。皆既の時の月の暗さも注目ポイント！



さじアストロパークの
ホームページはこちら

予告：皆既月食を見よう

～宇宙ふしぎ探検で観察会開催～

2025年9月8日(月)以来の皆既月食が、3月3日(火)に見られます。

9月8日の皆既月食は深夜3時ごろからでしたが、今回はちょうど観察しやすい時間帯ですので、みなさんぜひお見逃しなく。

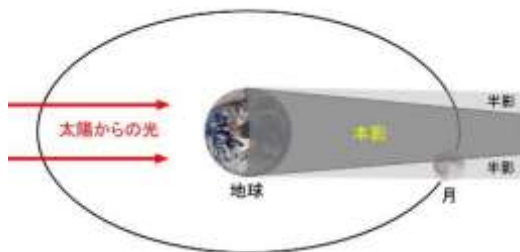
宇宙ふしぎ探検「皆既月食を見よう」

日時：2026年3月3日(火)18:30～22:30

場所：鳥取市さじアストロパーク

定員：なし

参加費：一般600円、小人200円



イベント★耳より情報

★内容や日程が変更となる場合があります。
公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆第12回アストロ宇宙写真展 2026年3月15日(日)まで

さじアストロパーク職員が撮影した星や宇宙に関連した写真を解説付きで展示

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク

第2部 テーマ番組「宇宙への旅」 2月15日(日)まで

テーマ番組「身近な天体① 月」 2月18日(水)～6月14日(日)

☆夜間観望会☆ ☆2月のテーマとおすすめ情報

望遠鏡で撮影体験 19時から(限定3組)	7(土)、14(土)、21(土)、 22(日)、28(土)
ペテルギウス 20時から(定員40名)	7(土)、14(土)、21(土)、 22(日)、28(土)
観望会で月がよく見える	22(日)、23(月・祝)、25(水)～28(土)
観望会で満天の星が楽しめる	5(木)～7(土)、11(水・祝)、13(金)～15(日)、18(水)～20(金)

☆2月の休館日 2(月)、3(火)、9(月)、10(火)、12(木)、16(月)、17(火)、24(火)

2月8日(日)は17:15で閉館



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

1. プラネタリウム ☆平日は3回、土日祝は4回投影しています

前半は当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。

★前半の当日夜の星空解説

星座の探し方を中心に当日夜の星空を専門職員が語り紹介します。

★後半のテーマ番組 ※季節ごとにテーマ番組が変わります

冬のテーマ番組【宇宙への旅】 2月15日(日)まで

※果てしなく広がる宇宙の彼方へご案内します。

春のテーマ番組【身近な天体① 月】 2月18日(水)より

※月をいろんな角度から紹介するさじアストロパークのオリジナル番組です。



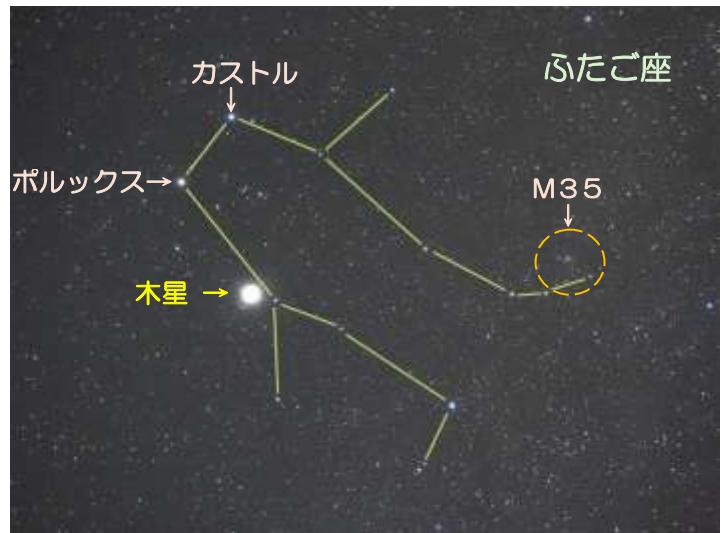
2. 103cm大型望遠鏡での夜間観望会（天体観察会）

夜空の状態により、当日の観察天体が異なります。土曜日の事前予約は不要です。その他の曜日は、ご利用日の前の開館日・午後5時までにご予約ください。団体利用は1カ月前までにご予約ください。

2月の星座と観察天体より

☆ ふたご座

プトレマイオス48星座の一つで誕生星座としても知られています。双子の兄弟の頭で輝いている2つの星は、古代バビロニア時代から大きな双子と呼ばれていました。日本でも古くから一対の星として、「かにの目・猫の目・目玉星・金星銀星」などと呼ばれていました。実際の夜空でも探しやすい星座ですが、今年はふたご座に木星がひととき明るく輝いています。ギリシャ神話では、兄カストルは人間の子、弟ポルックスは大神ゼウスの子とされています。仲の良い兄弟として数々の冒険の物語があります。ふたご座の足元には散開星団M35があり、目のいい人は肉眼でも見つけられそうです。カストルは天体望遠鏡では2つの星が寄り添って輝く二重星として見えますが、実は目では見えない暗い星もある6重連星で複雑に回り回っているようです。



・カストル (1.6 等星 51 光年) ・ポルックス (1.1 等星 34 光年) ・M35 (2570 光年 星の数は約 120 個)

☆ オリオン座の1等星「ベテルギウスとリゲル」

オリオン座には2つの1等星があります。赤い色のベテルギウスと青白い色のリゲルですが、星の色の違いは、その星の表面温度の違いから現れるものです。低い温度から高い温度にかけて「赤→オレンジ→黄→白→青白」となります。大型望遠鏡で見ると、まるで宝石を見ているようでとてもきれいです。ベテルギウスは、あと10万年以内にはその一生が終わるのではと考えられている年老いた星です。

・ベテルギウス (0.5 等星 498 光年) 星の表面温度は約 3600 度

・リゲル (0.1 等星 863 光年) 星の表面温度は約 12000 度



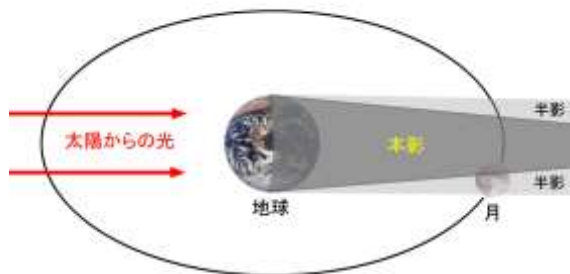
皆既月食

3月3日(火)に皆既月食がみられます。当日の日中は通常通り休館ですが、月食観察のため夜間を臨時開館(開館時間 18:00~22:30)します。

2025年9月8日以来の皆既月食です。前は夜半過ぎからでしたが、今回は19時前から見ることができます。非常に良い条件ですので、是非見てみてください。

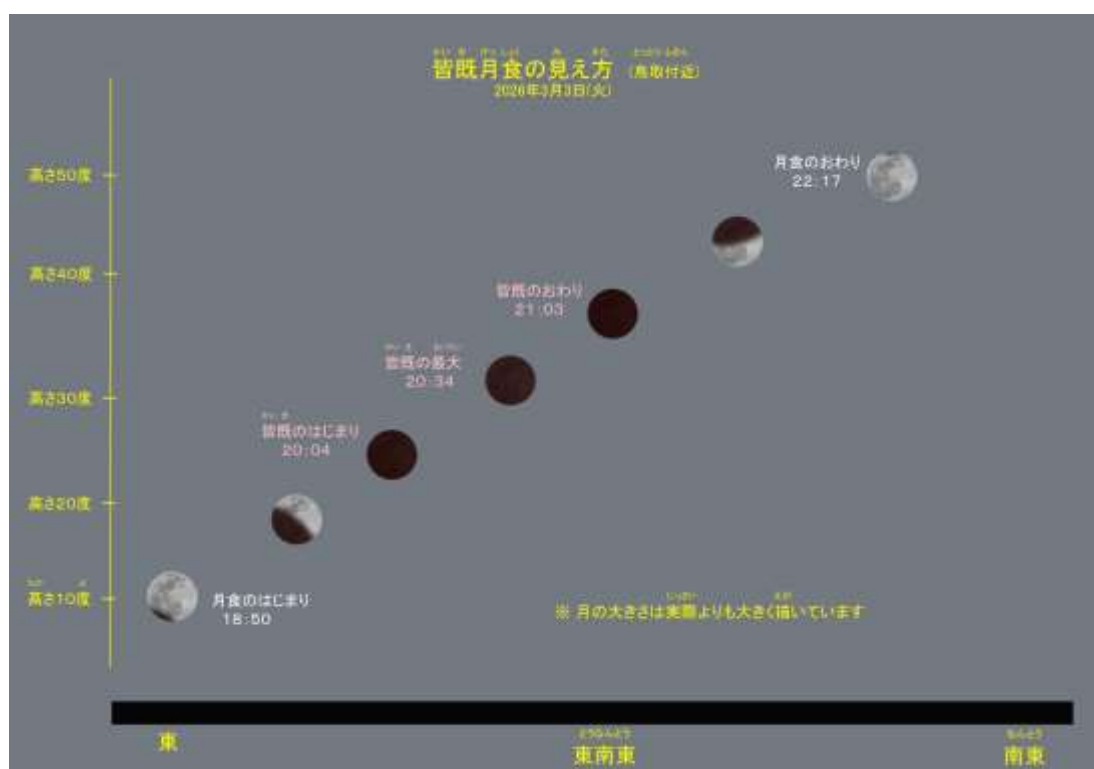
月食の仕組み

月食は、満月が地球の影に入る現象です。(右の図)
月食には3種類あります。地球の本影に月全体が入る「**皆既月食**」、地球の本影に月の一部が入る「**部分月食**」、地球のごく淡い半影部分の中を月が通過するだけのものを「**半影月食**」といいます。今回は、月全体が地球の本影に入る「**皆既月食**」です。その時、満月が明るさを失い、赤暗い(よく赤銅色と表現されます)満月に変わってしまいます。



月食の見え方

今回は下の図のように見えます。月の出が17時48分、月食が始まるのが18時50分です。この時高さは11度です。東から南東方向にできるだけ障害物のない、開けたところで見ると良いでしょう。最初から月の欠けていく様子を見ることが出来ます。食が進み、地球の影に完全に入る皆既が始まるのが20時4分、皆既の終了が21時3分です。今回の皆既時間は約1時間です。この間は満天の星を見ることが出来ます。スマホで満天の星と皆既中の赤い月の撮影にも挑戦してみてください。そして、22時17分に月食は終わります。次回の皆既月食は2029年1月1日です。



※さじアストロパークでは3月3日(火)に皆既月食の観察会を行います。

時 間：18時30分~22時30分

定 員：なし

参加費：一般(高校生以上)600円、小人(小中学生)200円(入館料と観望料として)

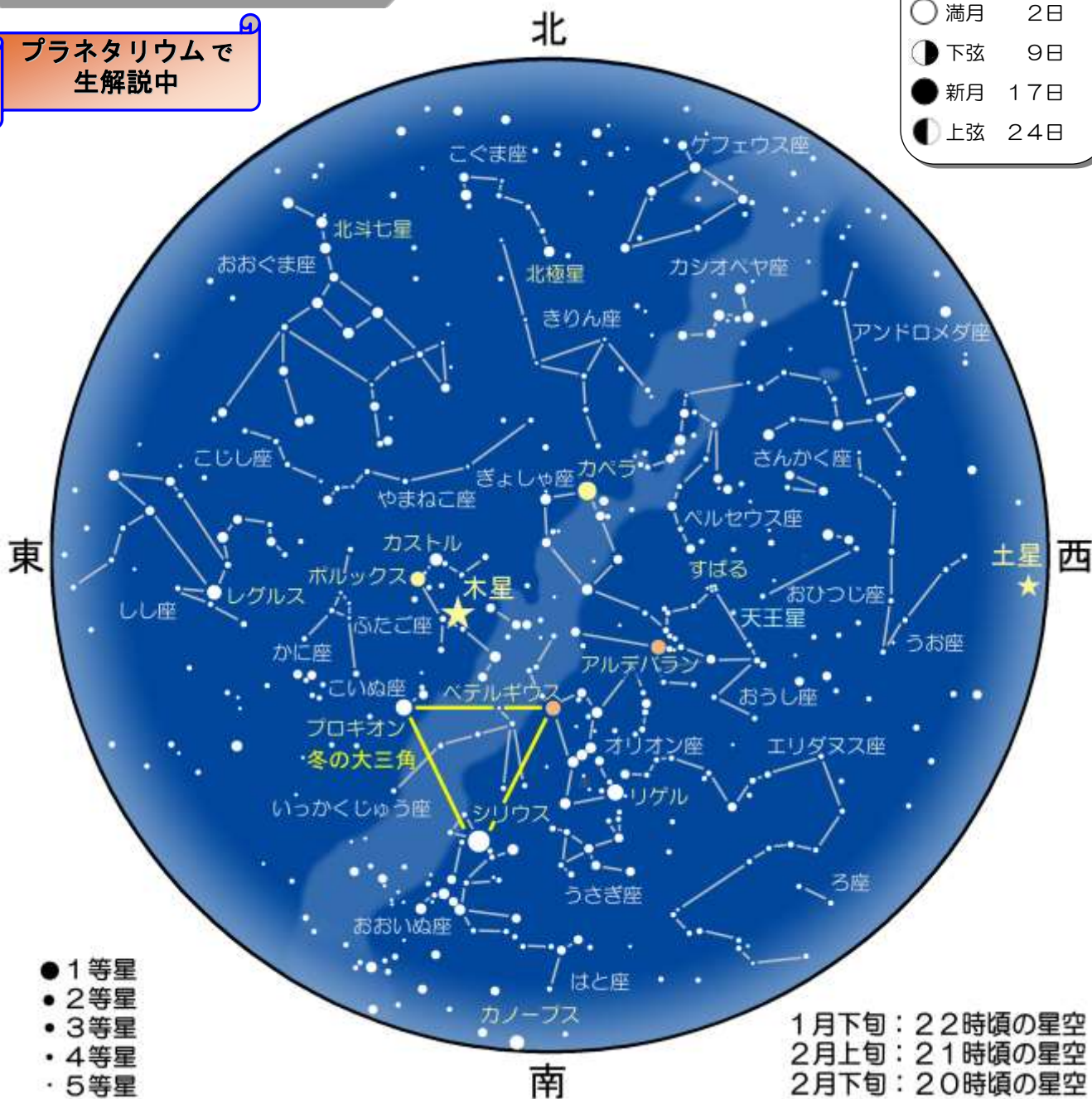
備 考：天候不良時は、月食のお話や他施設の生中継ライブの鑑賞を行います

2026年2月の星空

プラネタリウムで
生解説中

2月の月の暦

○ 満月	2日
◐ 下弦	9日
● 新月	17日
◑ 上弦	24日



☆今年の立春は2月4日です。まだまだ寒さは続きますが暦の上では春がはじまります。空を見上げてみると冬の星座たちのあとから春の星座たちが見えてきていますよ。

☆まずは真上を見上げてみましょう。ひときわ明るく輝く「木星」が見つかるはずです。木星の近くには「ふたご座」の「カストル」と「ポルックス」がありますね。南の空に目線を下ろしていくと、「オリオン座」の「ベテルギウス」、「こいぬ座」の「プロキオン」、「おおいぬ座」の「シリウス」でできている「冬の三角形」が見えています。シリウスは星座の星の中で一番明るい星ですが、木星と比べるといつもよりも少し目立たないかもしれませんね。東の空には春の星空が顔を出してきました。「しし座」が勇ましく昇ってきていて、北の空には「北斗七星」が見え始めていますね。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観測会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtube、インスタも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp